

## 2021年度山形県学童保育連絡協議会総会開催

～5月16日（日）にオンラインで総会及び学習会を開催しました～

総会議事：①2020年度事業報告および収支決算について・監査報告②2021年度事業計画および収支予算について  
③規約の一部改正について④役員の変更について⑤その他

学習会：令和3年度の放課後児童健全育成事業について

講師：渡邊友理 氏（山形県しあわせ子育て応援部子ども保育支援課）

内容：①放課後児童健全育成事業に係る国の動きについて ②山形県の放課後児童クラブに関する施策について  
③新型コロナウイルス感染症への対応について

### 《総会・学習会に参加して》

山形市の第八小学校区内にある「うめばち子どもの家」を利用させていただいております。当所では、長年の課題であった施設の老朽化解消のため、来年度に移転新築を予定しております。一方、人員不足は恒常的な課題となっております。このように、各所・各地域で抱える課題は異なると思いますが、県連では、県全域で課題を共有し解決に向けて行政への要請活動を展開したり、指導員の支援の質の向上を目的とした研修会を継続して開催されるなど、子どもたちの安心できる居場所づくりのため様々対応いただいていることを知り、大変ありがたく、心強く感じました。子を持つ親として、学童保育の実情を知るきっかけになりましたし、同様に、一人でも多くの保護者の方に関心を持っていただき、より良い学童保育になっていけたらと思いました。

（山形市うめばち子どもの家保護者 佐藤寛幸）

昨年はコロナ禍の中で活動が制限されましたが、オンライン研修会の実施など新しい試みが実施され、時代に合わせて活動のあり方も変わっていくのだと感じました。学習会では、コロナ対応の施策や国の新しい施策について説明されました。行政と協力しながら、子ども達のため学童保育の施策を積極的に実行する必要性を感じました。

（米沢市たんぼぼクラブ指導員 遠藤哲也）

## 2022年度 社会福祉制度・予算対策要望書を提出しました

来年度に向けた山形県への要望は、役員会で検討し以下の3点としました。

### 1. 低所得世帯及び多子世帯に対する利用料補助の拡充について

学童保育を必要とする保護者と子どもたちに安心して安全な放課後の生活の場を継続して保障できるよう、所得制限を緩和するなど補助対象を拡充するとともに、国において利用料軽減事業が取り組まれるよう要望して欲しい。

### 2. 放課後児童クラブ施設・設備の整備について

子どもたちが、生活する場に相応しい広さと設備を持つ施設で、安心して安全に過ごすことができるよう、増改築を含めた施設整備補助を県単独で取り組んで欲しい。

### 3. 放課後児童支援員の人材確保と育成支援の質の向上のための研修の充実について

指導員不足解消に向けて、県のホームページや広報誌などを通じて、募集状況の周知やPRなどを行い、潜在保育士や社会福祉士など人材の掘り起こしに取り組んでいただくと同時に、指導員が自信と誇りをもって働き続けるためには専門性を磨くための研修が不可欠であることから、学童保育に特化した内容で県主催の指導員研修を実施してほしい。

# 一人ひとりの声を国と自治体に届けよう

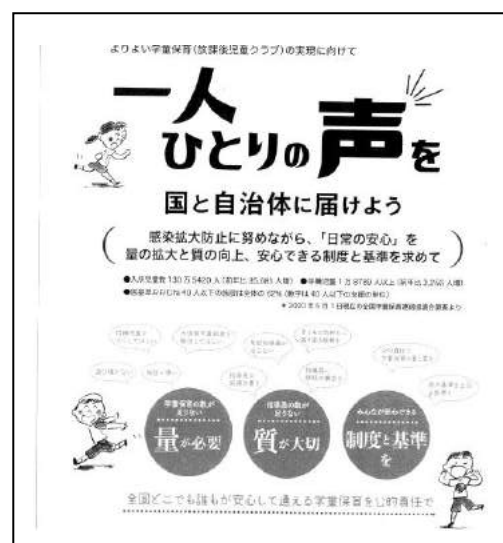
子どもと生活を共にするうえで必要な専門的な知識や技能を備えた「放課後児童支援員」という資格を持つ指導員が、経験を蓄積し、子どもと安定的に継続して関わりを持てるようにするために必要なのは、「設備運営基準」や補助金の交付要綱の「緩和」ではなく、指導員が就労を継続するための条件整備と人材確保です。全国連協では、よりよい学童保育の実現に向けて、2021年、2022年の2年をかけて、「一人ひとりの声を国と自治体に届けよう」とする取り組みを始めました。たとえば、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため学校の臨時休業中に学童保育が開所していたことについて思うこと」「施設の広さ、子ども集団の人数規模について思うこと」「子どもたちが学童保育を自らの生活の拠り所としていると実感した出来事」など、保護者・運営委員・指導員一人ひとりが、ご自身の言葉で思いを記してお寄せください。国、県、市長村に届けましょう。くわしくは全国連協のホームページにリーフレットを掲載しています。又、県連事務所かお近くの放課後児童クラブへお問い合わせください。



山形県連協の締め切りは9月30日（木）です！



一人ひとりの声を届けよう  
全国連協ホームページにリーフレットを掲  
載していますので、ご覧ください。



## 2021年度 国の学童保育予算について

今年度の国の学童保育予算には、新たなメニューが盛り込まれました。行政へその内容を伝え、国の予算を活用してもらおう働きかけましょう。

### ① 放課後児童クラブ育成支援体制強化事業 1支援の単位当たり 年額 144万3000円

運営事務等を行う職員の配置等に必要な経費の補助です。

具体的には、①施設等の清掃業務・衛生管理、②会計事務等、③児童が学習活動を自主的に行える環境整備、④出欠席や職員の服務に関する状況等の日誌の作成、⑤おやつ発注・購入等、⑥その他学童保育の運営にかかわる業務や育成支援の周辺業務 以上のような業務を行う職員を配置する場合など市町村が認めれば補助の対象となります。複数の施設で一人を雇用することも可能です。ただし、その場合は対象経費が重複しないように留意する必要があります。指導員が育成支援に専念できるようにするための事業ですので、是非市町村に働きかけてください。

### ② 放課後児童クラブ第三者評価受審推進事業 1クラブ当り 年額 300,000円

育成支援の質の向上を図るため、第三者評価の受審に必要な経費が補助されます。

令和2年度の第3次補正予算に盛り込まれた「放課後児童クラブICT化推進事業」に関しては、都道府県が実施する研修をオンラインで受講できるよう、必要なシステム基盤の導入にかかる費用としてパソコンやインターネット環境の整備が想定されています。ランニングコスト等については切っても切り離せないものなので、補助の対象経費となるよう、是非、市町村と相談してください。

# 2021年度 事業計画より

## 研修

- 現任研修（新人研修含む）年4回開催予定  
①7月16日（金）学童保育とは（学童保育の制度・歴史・指導員の仕事）講師：真田祐氏
- 第42回山形県学童保育研究集会の開催（リモートでの1日開催）11月予定。
- 放課後児童支援員認定資格研修の受講推進（・村山地区・庄内地区・置賜地区）
- 第46回全国学童保育指導員学校東北会場9月19日（日）オンライン開催
- 午前：全体講義 『学童保育の生活づくり・指導員の仕事』講師：山川美江子氏（山形市指導員） 午後：講座（6講座）講座1：『保護者といっしょに子育てを』講師：高木直氏（山形県連協会長・山形大学名誉教授）※全国学童保育指導員学校は今年度オンライン開催となります。他地方会場への参加も可能です。詳しくは学童ほいく誌7月号巻末をご覧ください。
- 放課後子ども総合プラン指導者研修会（県主催）
- その他必要に応じた研修

### 第56回全国学童保育研究集会 開催決定！

「全国研は元気の素」、2日間、存分に語りあい、学びあひましよう！

- ◆全体会 2021年10月23日（土） Zoomによるオンライン開催  
記念講演 石原剛志先生（静岡大学）
- ◆分科会 2021年10月24日（日） Zoomによるオンライン開催  
○多様なテーマの分科会を予定  
○生活づくり分科会と運動の交流分科会、特設分科会は午前2時間+午後2時間  
半、基礎講座と講義と交流の分科会は、講義のみを午前もしくは午後の2時間
- ◆参加費 4,000円（1日のみの参加・両日参加ともに同額）
- ◆主催 全国学童保育連絡協議会

\*詳細は、本誌2021年8月号巻末にリーフレットを綴じ込みます。

山形大会で講演予定だった石原剛志先生のお話をやっと聴講することができます。詳細は学童ほいく誌8月号にて発表！久しぶりに全国の皆さんと一緒に学び合ひましよう！

## 広報・調査、研究

- ◆ 県連協 NEWS の発行（今年度も加盟クラブ全世帯配布、未加盟クラブ関係各所へも送付します。）
- ◆ ホームページの開設（身近に県連協の正しい情報を得られるように発信していきます。）
- ◆ 学童保育実態調査（調査から見えてきた実態を把握し、施策向上へ向けた活動へ繋げていきます。）
- ◆ 各市町村・各市町村議会対策、各市町村の情報交換（保育内容の交流 他）

## 災害被災地の学童保育支援

- 学童保育の復旧・復興のための募金や支援に2021年度も引き続き取り組みます。  
日本の学童ほいく誌には《東日本大震災から10年が経過して》として、連載があります。また、ねっとわーくには震災からの復旧の様子や募金活用の報告が掲載されています。山形県連協も全国連協を通じて、支援を続けていきます。

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止より

- 関係各所と連携、協力し、県や市町村に現状と課題を伝え、支援を働きかけます。国の新型コロナウイルスに関連する補助金の活用について情報を共有し働きかけます。

※詳しくは2021年度県連総会資料をご覧ください。





# みんなで読もう！語ろう！！

## 月刊 日本の学童ほいく

♡ほいく誌はみんなの心のバイブル♡

学童保育唯一の専門誌、月刊『日本の学童ほいく』

子どもを学童保育に通わせている保護者と、日々子どもたちと生活している指導員が書き手となっています。「日本中の仲間たちが頑張っている記事を読んで元気が湧いてきた」「子育ての悩みの解決のヒントになった」など、ほっと心が温まったり、時にはクスッと笑えたり!! 他には子どもたちの作文やかわいいイラストもたくさん載っています。

そんな私たちの生活と仕事を支えてくれる本『日本の学童ほいく』を購読してみませんか？

**開催しました！**

第1回

カフェ HOIKUSHI ござ〜れ

(ほいく誌を読む会)

7月12日(月)10:00~

第1回目の今回は、7月号の特集「1人ひとりが安心して過ごせる人数に」をトークテーマに参加者のみなさんと語り合いました。

会の後半では、日々の保育で悩んでいることや子どもたちのちょっとしたおもしろエピソード等が語れるフリートークの時間も設けました。

**次回は8月31日(火)**

開催予定です。ぜひぜひご参加くださいーい!(^^)!

### 2021年度 山形県連協の取り組み

普及拡大目標：「全学童保育で1冊以上購読」

「指導員全員購読」「各クラブ1冊増」

1. 普及拡大担当者の選出及び担当者会議の開催
2. モニターの選出・登録とモニター会議の開催

※モニター登録52名

3. カフェ HOIKUSHI ござ〜れ

(ほいく誌を読む会)の開催

各地域の普及拡大担当者の皆さんを対象に6月にお試し会を開催しました。

参加された皆さんからは、『日本の学童ほいく』の魅力やおすすめ記事をお話いただき盛り上がりました♪今後も毎月開催予定です。

☆指導員の研修にも活用できる専門誌です☆

バックナンバーの取り寄せ、購読申し込みは

山形県学童保育連絡協議会へご連絡ください。

TEL：023（674）9782

mail：[yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp](mailto:yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp)

